

那覇空港初のホテル「ファーストキャビン那覇」

Wi-Fi 7AP で、ビジネス利用に最適な高速・安定ネットワークを実現

概要

2025 年に開業した「ファーストキャビン那覇」は、那覇空港内に誕生した初のホテルとして、ビジネス利用を中心とした多くのお客様を迎えています。72 室の客室に加え、宿泊者専用ラウンジや無料商談スペースを備え、出張時の滞在やワーケーションにも対応した施設です。

本施設では、新築に合わせて館内ネットワークを新たに整備。客室だけでなくラウンジなど共用部でも快適に利用できる通信環境を実現するため、TP-Link の Wi-Fi 7 アクセスポイントを導入しました。

課題

- ・ビジネス利用に耐えられる高速・安定した Wi-Fi 環境が必要だった
- ・72 室の客室と共用スペースで、多数の利用者が同時接続しても安定した通信環境が求められていた
- ・日々の運用負担を抑え、管理しやすいネットワーク環境を構築したかった

導入製品

Omada 10G VPN ゲートウェイ「[ER8411](#)」



Omada ハードウェアコントローラー「[OC200](#)」



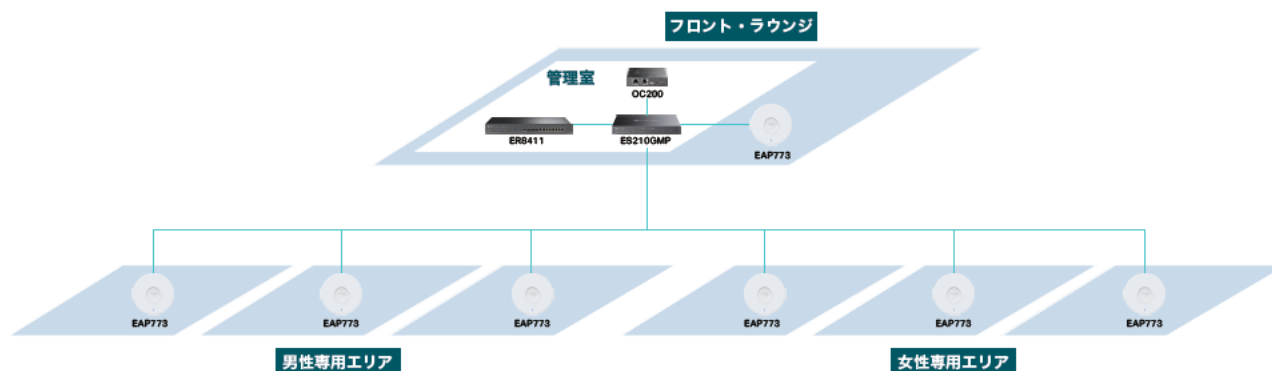
Omada ギガビットポート×10/SFP スロット×1
イーザーマネージスイッチ「[ES210GMP](#)」



BE9300 天井取り付け型 トライバンド
Wi-Fi 7 アクセスポイント「[EAP773](#)」



設置・構成



【導入のポイント】

Wi-Fi 7 による高速・安定通信

ファーストキャビン那覇では、72 室の客室に加え、ラウンジや無料商談スペースなど館内全体をカバーするネットワークとして、TP-Link「Omada」の Wi-Fi 7 アクセスポイントを導入しました。

Wi-Fi 7 の高速・低遅延通信と優れた同時接続性能により、多くの宿泊者が同時に利用する環境でも安定した通信品質を提供。客室での動画視聴やオンライン会議はもちろん、ラウンジでのリモートワークや商談など、ビジネス利用にも快適な Wi-Fi 環境を提供しています。

また、Omada SDN ソリューションによるクラウド一元管理を採用し、本社と Sler が遠隔からネットワークを管理・運用できる体制を整備。ネットワーク機器の監視や設定変更、障害発生時の確認もリモートで対応できるため、現地スタッフによる対応が不要となり、運用負担の軽減につながっています。

さらに、新築ホテルとして将来的な利用者数や通信需要の増加も見据え、拡張性にも配慮した設計を採用。今後のサービス拡充にも柔軟に対応できる環境を整えました。



フロント・受付エリア



多くの利用者が集まるラウンジ

ご担当者様のコメント：

「導入後は特に大きなトラブルもなく、非常に安定して利用できています。利用者から通信に関する問い合わせもほとんどなく、安心して運用できています。」



ポイント

- ・ Wi-Fi 7 による高速・安定通信で、ビジネス利用にも快適なネットワークを提供
- ・ 72 室の客室と共用スペースで、多数同時接続時も安定した通信品質を維持
- ・ ラウンジや商談スペースを含む館内全体で、快適な Wi-Fi 環境を提供
- ・ Omada SDN によるクラウド一元管理で、本社・Sler が遠隔から運用し、現地スタッフの管理負担を軽減

さいごに

快適な Wi-Fi 環境は、宿泊者の満足度向上だけでなく、ホテル運営の効率化にもつながります。TP-Link は、Wi-Fi 7 による高速・安定した通信と Omada SDN による一元管理を通じて、宿泊施設に最適なネットワーク環境をご提供します。ぜひこの機会に、TP-Link のホテル向けネットワークソリューションをご検討されてみてはいかがでしょうか。

お問い合わせ先

【導入検討のお問い合わせ先（弊社販売店）】

株式会社 Wiz （担当：佐野 秀幸様）

TEL: 050-5794-3639（平日 9 時～18 時） Email: cloud_wifi@012grp.co.jp

URL: <https://012grp.co.jp/>

【本導入事例に関するお問い合わせ先】

ティーピーリンクジャパン株式会社（担当：鳥谷部）

TEL: 03-6806-0912 Email: sales.jp@tp-link.com

URL: <https://www.tp-link.com/jp/>